

関東信越厚生局長 殿

開設者名  
筑波大学長 山田信

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	129.4 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	506人	62人	515.6人	看護補助者	78人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	2人	14.1人	理学療法士	18人	臨床検査技師	68人
薬剤師	41人	4人	46.4人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	33人	2人	34.3人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	651人	39人	674.6人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	15人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	2人	事務職員	158人
管理栄養士	8人	1人	8.9人	診療放射線技師	43人	その他の職員	29人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	642.3人	10.9人	653.2人
1日当たり平均外来患者数	1,450.7人	65.2人	1,516.0人
1日当たり平均調剤数	1587.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	5人
顎顔面補綴	1人
陽子線治療	274人
エキシマレーザー冠動脈形成術	0人
超音波骨折治療	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	16人
活性化自己リンパ球移入療法	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	4人
先天性難聴の遺伝子診断	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	18人
前眼部三次元画像解析	46人
末梢血幹細胞による血管再生治療	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	69人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	80人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	103人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・全身性エリテマトーデス	415人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	88人
・再生不良性貧血	39人	・混合性結合組織病	44人
・サルコイドーシス	61人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	30人	・特発性間質性肺炎	9人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	230人	・網膜色素変性症	37人
・特発性血小板減少性紫斑病	53人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	55人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	153人	・神経線維腫症	14人
・大動脈炎症候群	37人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	37人	・慢性血栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	54人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	44人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	21人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	132人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	11人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14人
・後縦靭帯骨化症	34人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	25人	・ミトコンドリア病	16人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	51人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	86人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週9回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 34 例 / 部検率 15.6%

(様式11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
心肥大からの心不全発症におけるRNAポリメラーゼの脱リン酸化調節による役割解明	本間 覚	循環器(内)診療グループ	156万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
心臓再同期療法適応診断におけるスペクトルトラッキング法の有用性評価に関する試験	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ	182万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
世界初の高血圧性誘発モデルによる大動脈解離の分子病態解明と臨床病態マーカーの開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
新規肥満モデルが血圧上昇をきたすメカニズムの解明と高血圧の予防・治療への応用	酒井 俊	循環器(内)診療グループ	156万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
難治性心疾患の新規原因遺伝子の網羅的探索	村越 伸行	循環器(内)診療グループ	156万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
心不全進展における慢性炎症の機序解明と新たな治療法の探索	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	273万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
放射光血管造影を用いた転移性肺腫瘍の早期診断の可能性	榊原 謙	循環器(外)診療グループ	390万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
TFPI・アンチトロンピン・トロンボモジュリンによる体外循環中の複合的抗凝固戦略	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	240万円	補 科学研究費補助金 (基盤B) 委
ワーファリン内服患者のためのビタミンKオフ納豆風味食品の開発と臨床効果検定	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
低分子ヒアルロン酸化合物TGA処理自己心膜の心臓補填材料としての適性に関する研究	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽 委
放射光微小血管撮影法による肺細動脈シアーストレスの計測と肺高血圧症研究への応用	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ	190万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
臨床応用を目指した低侵襲小児心機能モニターの開発	金本 真也	循環器(外)診療グループ	170万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
胆道癌に対する分子標的化遺伝子導入法を用いた遺伝子化学療法の実験的解析	福田邦明	消化器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
MDM2を標的とした新規胃癌治療薬の開発	兵頭一之介	消化器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究C) 委
S1P・ヒアルロン酸修飾リソソームを用いた難治性肝障害に対する新規治療薬の開発	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	810万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
アンチセンスRNAによる肝癌 に対する新規診断法の開発と テーラーメイド治療への応用	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	180万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
血小板・クッパー細胞相互作用 に着目した肝虚血再灌流 障害抑制法の開発	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
磁性ナノ粒子+腫瘍浸透ペ プチドによる難治固形癌の電 磁誘導焼灼治療	小田竜也	消化器(外)診療グループ	630万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
抗がんナノ粒子製剤の効果を 増強するマクロファージ制御 技術の開発	小田竜也	消化器(外)診療グループ	180万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
腫瘍摘出による新しい肝細胞 癌発癌抑制治療法の開発	渡辺基信	消化器(外)診療グループ	190万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
アンチセンスRNAによる大腸 癌の新規診断法の開発とサイ レンシング治療への応用	小林昭彦	消化器(外)診療グループ	180万円	補 文部科学省科学研 究費補助金 若手研究 (B) 委
大腸癌の発生に関わるアンチ センスRNAの機能解析と血液 を用いた新規診断法の開発	高野 恵輔	消化器(外)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 委
多発肝のう胞症に対する治療 ガイドライン作成と試料バンク の構築	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	1000万円	補 厚生労働省 委
初発肝細胞癌に対する肝切 除とラジオ波焼灼療法の有効 性に関する多施設共同研究	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	15万円	補 厚生労働省 委
遺伝的多様性に基づく慢性 気道疾患の制御	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
炎症性閉塞性肺疾患発症に 係る危険因子の解明-前向き 呼保一とによる包括的研究	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ	70万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
肺胞蛋白症の新たな病態:転 写因子T-betによるGM-CSF 非依存性の発症機構	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
新規サイトカインIL-17Fの気 道モデリングへの関与	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	180万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
肺癌の抗癌剤耐性に及ぼす 喫煙の影響に関する分子メカ ニズムの解明	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	200万円	補 委 喫煙財団
大気汚染やディーゼル排気 曝露が喘息の発症・増悪に及 ぼす影響に関する研究動向 の調査	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	121万円	補 委 受託研究 自動車研究所

小計15件



研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
泳動パターン解析による糖蛋白腫瘍マーカーの簡便な鑑別診断法の確立	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	30万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
喘息患者末梢結血を用いた創薬候補標的分子の機能解析	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	400万円	補 委 受託研究
白血球の複合的薬理制御による体外循環後肺傷害に対する新たな予防法の開発	後藤 行延	呼吸器(外)診療グループ	180万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
肺エアリーク定量測定モニターの開発と気嚥疾患に対する新しい治療ストラテジーの構築	酒井 光昭	呼吸器(外)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
胸腔鏡下特殊光観察による肺癌及び胸膜中皮腫の術中質的診断	佐藤 幸夫	呼吸器(外)診療グループ	50万円	補 内視鏡医学研究振興財団 委
アミノ型尿毒症性物質群を除去するハイフリット型人工腎臓の開発	鶴岡 秀一	腎泌尿器(内)診療グループ	90万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
恒久的なドナー腎臓産生を目標とした腎臓再生アッセイ法の開発と大型動物への応用	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	70万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
慢性腎臓病の進行制御のための医療連携システム構築	斎藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
Th17/Th1/Th2細胞優位発現マウスを用いた免疫複合体腎炎の病態解析	楊 景堯	腎泌尿器(内)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証—ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	60万円	補 厚生科学研究費 委
腎疾患重症化予防のための戦略研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	15300万円	補 厚生科学研究費 委
進行性腎障害に関する調査研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	300万円	補 厚生科学研究費 委
脂肪酸伸長酵素 Elovl6 を標的とした臓器脂肪質の変容による代謝制御機構(基盤)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	390万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
脂肪酸の質の違いによる自然炎症制御機構の解明(新学術領域研究)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	350万円	補 科学研究費補助金 基盤(新学術領域研究) 委
HDLコレステロール値を上昇させる新しいナノテクノロジーの評価とその分子機序(挑戦的萌芽研究)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	280万円	補 科学研究費補助金 基盤(挑戦的萌芽研究) 委
難治性疾患克服研究事業 原発性高脂血症に関する調査研究	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
自己免疫疾患における調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	2700万円	補 厚生労働省 委
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復法の開発に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	200万円	補 厚生労働省 委
自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成及び新生児ループスの発症リスクの軽減に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	30万円	補 厚生労働省 委
新規疾患、IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患 (IgG4+MOLPS)の確立のための研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	80万円	補 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
スギ花粉症以外の疾患治療薬候補となる農作物の開発	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	652.2万円	補 農林水産省 委
成人型分類不能型免疫不全症の実態把握、亜群特定に基づく診断基準策定及び病態解明に関する研究	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	50万円	補 厚生労働省 委
自己免疫膵膵関節炎における新規制御分子の病因的意義	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	75万円	補 厚生労働省 委
多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの治験(治験推進事業)	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
インターロイキン-21の分子機構の解明とその制御による免疫疾患の新規治療法の検討	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	110万円	補 文部科学省 委
シェーグレン症候群でのM3ムスカリン作働性アセチルコリン受容体に対する免疫応答	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	170万円	補 文部科学省 委
自己免疫性関節炎におけるTIARPの病因的意義	井上 明日香	膠原病リウマチアレルギー内科 診療グループ	70万円	補 文部科学省 委
不応性貧血の治療率向上を目指す分子・免疫病態研究	千葉 滋	血液診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
ヒト顆粒細胞の同定と生体内機能解析システム	千葉 滋	血液診療グループ	1080万円	補 文部科学省 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
骨髄異形成症候群の病態解析-骨髄と神経ネットワーク	千葉 滋	血液診療グループ	234万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽 委
末梢血を用いたDNA修復活性評価法の確立	鈴木 和己	血液診療グループ	247万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
巨核球分化におけるNotchシグナルが担う造血制御機構	錦井 秀和	血液診療グループ	195万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応	朝田 隆	精神神経診療グループ	3944万円	補 厚生労働省 委
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	朝田 隆	精神神経診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委
認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	130万円	補 厚生労働省 委
筋萎縮性側索硬化症の分子病態解明と新規治療法創出に関する研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	500万円	補 厚生労働省 委
NIRSを用いた精神疾患の早期診断についての実用化研究	根本 清貴	精神神経診療グループ	160万円	補 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚 藤男	皮膚診療グループ	3200万円	補 厚生労働省 委
日本人の疫学的特徴に基づいた皮膚悪性腫瘍の診断治療法の開発	大塚 藤男	皮膚診療グループ	80万円	補 委 国立がん研究センター
薬事申請を目指した結節性硬化症(TSC)の皮膚病変に対する副作用の少ない外用剤の開発と臨床応用	大塚 藤男	皮膚診療グループ	60万円	補 厚生労働省 委
紫外線照射および表皮発生・分化における皮膚の酸化ストレス防御機構の役割	川内 康弘	皮膚診療グループ	140万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
神経線維腫症 I 型の抗TNF- $\alpha$ 抗体による新規治療の開発	中村 泰大	皮膚診療グループ	208万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
皮膚悪性腫瘍におけるKenpi-Nrt2システム異常の検討	古田 淳一	皮膚診療グループ	80万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
Th17を制御する転写因子ROR $\gamma$ 1発現による接触皮膚炎反応減弱メカニズムの解明	藤澤 康弘	皮膚診療グループ	150万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B) 委
Alagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成・実態調査並びに生体試料のバンク化	須崎崎 亮	小児(内)診療グループ	1300万円	補 厚生労働省 委
血液凝固線溶系を指標とした幼児期からのメタボリックシンドロームの予防に関する研究	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	117万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委

小計17件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
アディポネクチンとアディポネクチン遺伝子多型が胎児発育に及ぼす影響に関する研究	齋藤 誠	小児(内)診療グループ	117万円	補 科学研究費補助金 基盤(若手研究B)  委
短腸症候群における腸管延長術STEP法の有用性についての基礎的研究	増本幸二	小児(外)診療グループ	143万円	補 日本学術振興会 科学研究費基盤研究(C) 委
先天性横膈膜全欠損に対する遺伝子導入及び再生医療を応用した新規治療法の開発	増本幸二	小児(外)診療グループ	10万円	補 日本学術振興会 科学研究費基盤研究 (B) 委
先天性代謝異常症及び凝固異常症に対する乳菌幹細胞を用いた肝再生療法の開発	増本幸二	小児(外)診療グループ	10万円	補 日本学術振興会 科学研究費挑戦的萌芽研究 委
Hirschsprung病類縁疾患の現状調査と診断基準に関するガイドライン作成	増本幸二	小児(外)診療グループ	10万円	補 厚生労働省 科学研究費(難治性疾患克服 研究事業) 委
運動神経神経付加は本当に起こっているのか	関堂 充	形成診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
皮膚創傷治癒過程におけるKenp1-Nrf2システムの役割と新規療剤予防薬の開発	関堂 充	形成診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
悪性黒色腫を標的とするハイブリッドペプチドによる新しいバイオ療法の研究開発	関堂 充	形成診療グループ	15万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽 委
創傷治癒過程における参加ストレス応答タンパク質Trim16の分枝機能に関する研究	足立 孝二	形成診療グループ	170万円	補 科学研究費補助金 基盤(C)  委
アミロイドーシスに関する調査研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	150万円	補 厚生労働省  委
平成23年度ジフェニルアルシ酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフィ(123-I-IMP-SPECT)の正常対照群データベース作成	石井 一弘	脳神経(内)診療グループ	900万円	補 委 環境省
平成23年度ジフェニルアルシ酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシ酸の生体影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	2100万円	補 委 環境省
認知症患者のバランス障害メカニズムの解明	中馬越 清隆	脳神経(内)診療グループ	150万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
治験の実施に関する研究「L-アルギニン」	石井 亜紀子	脳神経(内)診療グループ	100万円	補 厚生労働省  委
孤発性筋萎縮側索硬化症における運動ニューロン死へのRNA編集酵素と多因子の関与	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 基盤(C)  委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
孤発性ALSの分子異常を標的とした治療技術の確立	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委
「ロックオン式レーザー治療機器を用いた新規神経内視鏡治療の研究開発」	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ	50万円	補 委 日本脳神経財団研究助成金
「偏光を用いた脳神経機能・組織の術中顕微鏡下イメージングの開発」	鮎澤 聡	脳神経(外)診療グループ	60万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
「MR compression cerebrographyを利用した頭部外傷評価法の確立」	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 委 JA共済交通事故医療研究助成金
「遺伝子修飾した血管内皮前駆細胞(EPC)によるワクチン療法の開発」	石川 栄一	脳神経(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 (若手B)
「脳腫瘍に対する血管新生抑制療法の展開:新規治療法と抵抗性の克服」	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	1500万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究B)
「膠芽腫(Glomeruloid vessel)は何を行っているか」	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽
「準単色LCS-X線と標的指向性DDSを組み合わせた相乗的癌治療効果に関する研究」	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	200万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究B)
「環境応答性ナノ粒子を用いた脳虚血治療の研究」	鶴嶋 英夫	脳神経(外)診療グループ	240万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究B)
「血管内皮選択的BNCTを用いた脳血管再狭窄予防法の開発」	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	220万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究C)
「発達期における骨格系と髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究」	松村 明(分担)	脳神経(外)診療グループ	60万円	補 厚生労働科学研究費 精神神経疾患研究 委託費
「悪性脳腫瘍に対する細胞選択的粒子線治療の高度化」	松村 明	脳神経(外)診療グループ	360万円	補 科学研究費補助金 基盤(B)
「細胞周期同調下のプレローディングに由来する中性子捕捉療法(BNCT)の確立」	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	495万円	補 科学研究費補助金 基盤(C)
「抗酸化作用を利用した新規ホウ素ペプチドの開発」	松村 明	脳神経(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽
次世代偏光干渉断層計による高機能光三次元バイオプシーの臨床実用化に関する研究	大鹿 哲郎	眼診療グループ	377万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
D-アミノ酸を新たな分子標的とする糖尿病網膜症のメカニズムの解明	加治 優一	眼診療グループ	143万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
組織シーラントを用いたガススタンボナーデ不要の網膜剥離手術の有効性、安全性の検討	岡本 史樹	眼診療グループ	195万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
サル近視モデルを用いたオルソケラトロジーの近視進行抑制効果の検討	平岡 孝浩	眼診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
固有振動数解析と逆解析を用いた次世代型非接触式眼圧計の開発	石井 晃太郎	眼診療グループ	312万円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
子宮頸癌予防のための次世代ワクチンの開発研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	490万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
子宮頸癌の病態と原因HPV型について;特にHPV18に注目して	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	150万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	2500万円	補 厚生労働省 委
妊娠・授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	240万円	補 厚生労働省 委
治療前婦人科がん不顕性血栓塞栓症発見法と顕性化予防法の確立および発生機序の解明	佐藤豊実	婦人・周産期診療グループ	60万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
オーダーメイド化学療法を旨とした抗がん剤感受性検査の判定基準の策定	沖 明典	婦人・周産期診療グループ	160万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
ヒトパピローマウイルス検査の臨床応用	松本 光司	婦人・周産期診療グループ	169万円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
内耳発生における転写因子GATA3の機能解析	星野 朝文	耳鼻咽喉診療グループ	169万円	補 科学研究費補助金 若手(B) 委
急性高度難聴に関する調査研究	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	100万円	補 厚労科学研究費「難治性疾患克服事業」 委
神経皮膚症候群に関する調査研究事業	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	30万円	補 厚生労働省科学研究費 委
内耳薬物投与システムを応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	90万円	補 厚生労働省科学研究費 障害者対策総合研究事業(感覚器障害分野) 委
手術手技指導システムの確立と普及に向けての研究	和田 哲郎	耳鼻咽喉診療グループ	70万円	補 筑波大学次世代医療開発教育統合センター橋渡し研究・シーズ探索研究支援事業 委
術後痛対策におけるニューロステロイドの可能性	福田 妙子	麻酔診療グループ	91万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
マウス心停止モデルを用いた心肺蘇生後の酸化水素による人工冬眠療法の臓器保護効果	中山 慎	麻酔診療グループ	234万円	補 科学研究費補助金 若手B 委

小計18件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
マイクログリアに焦点をあてた術後の高次機能障害の発症機序の解明とその予防法の検討	山下 創一郎	麻酔診療グループ	364万円	補 科学研究費補助金(基盤C) 委
口腔癌に対する血中・唾液中microRNAによる診断、治療法の開発	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	234万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
口腔悪性腫瘍の浸潤・転移を制御する糖鎖分子の探索と分子標的治療への応用	鬼澤 浩司郎	歯・口腔診療グループ	507万円	補 科学研究費補助金(基盤B) 委
口腔癌におけるオートファジー関連因子p62欠損による発癌の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	520万円	補 科学研究費補助金(基盤B) 委
CASKノックアウトマウスを用いた口蓋裂形成シグナルの解明	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	195万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
骨分化能に優れた根尖部歯髓組織由来間葉系幹細胞の単離およびその解析	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	182万円	補 科学研究費補助金 若手研究B 委
生活環境・職場ストレス調査	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	50万円	補 筑波研究学園都市 交流協議会 委
血管内皮障害を伴う敗血症の新しい診断法の確立	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	390万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
二酸化炭素中毒死の死因究明と急性期治療法の検討	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	260万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
顆粒球コロニー刺激因子の術前投与による致死的不整脈抑制の検討	下條 信威	救急・集中治療診療グループ	221万円	補 科学研究費補助金(基盤C) 委
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究/粒子線治療の臨床評価に関する研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	90万円	補 厚生労働省 委
陽子線を組み込んだ集学的治療の推進のためのトランスレーショナルリサーチ	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	260万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
陽子線治療での照射ビーム性能確認とビーム輸送調整の短時間化技術に関する研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	250万円	補 委 (株)日立製作所
持続的発展を見据えた「分子追跡放射線治療装置の開発研究」	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 委 北海道大学
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのトランスレーショナル研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
頭部IVR診断参考レベル設定のための実測による皮膚及び水晶体の多施設線量評価	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 放射線影響協会 委
IVR患者被ばく測定法の標準化に関する基礎的研究	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	78万円	補 科学研究費補助金(基盤C) 委
実用型頭部IVR 局所X線遮蔽装置による患者眼球被ばく低減効果の実証	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	170万円	補 委 (独)科学技術振興機構
陽子線治療における細胞浸潤能抑制効果に関する研究	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	96万円	補 日本医学放射線学会

小計19件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
環境中における放射性物質の簡易型リアルタイムモニタリングシステム	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 大和証券ヘルス財 団 委
画像誘導放射線治療における被ばく線量の評価	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	5万円	補 日本放射線技術学 会
骨格筋MRIによる運動効果の多角的評価法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	182万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
ホウ素中性子捕捉療法のための即発ガンマ断層撮影法の研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	5万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
次世代放射線治療支援システムに関する事業展開	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	190万円	補 委 筑波大学産学連携 推進プロジェクト
マイクロシメトリ技術を結合して計算で等価線量まで評価できる治療計画技術の研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	117万円	補 文部科学省 委
小型陽子線加速器ベースの中性子発生プラントの構築による医療用中性子ビームの実証評価	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	2000万円	補 委 経済産業省イノベー ション拠点立地支援事業
次世代放射線治療計画システムの事業化研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	793万円	補 委 (独)科学技術振興機 構
動体追跡システムの高度化と強度変調/スキヤニング照射への応用	照沼 利之	放射線腫瘍科診療グループ	65万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
陽子線・X線・ガンマ線治療時のがん免疫反応強化法に関する研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	90万円	補 委 セルメディン(株)
ナノ粒子アジュバントによるがん放射線・免疫融合療法の開発	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	224万円	補 委 筑波大学産学連携 推進プロジェクト
実験動物を用いた放射線診断及び治療技術に関する研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	1240万円	補 委 富士フィルム(株)
陽子線治療におけるディスタル形状位置検出の高速・高精度化の研究	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	91万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
画像処理用並列演算素子に最適化された粒子線線量分布計法の開発とその精度評価	榮 武二	放射線腫瘍科診療グループ	299万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
放射線照射による宿主の免疫応答を利用した治療法の開発	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
肺がんの分子病理学的分類法に関する研究	野口雅之	病理診断診療グループ	300万円	補 厚生労働科学研究 費補助金(第3次対がん 総合戦略研究事業) 委
肺神経内分泌癌の発生の病理学	野口雅之	病理診断診療グループ	70万円	補 厚生労働省がん研 究開発費 委
ヒト肺腺癌イニシエイティング細胞の同定と分子生物学的特徴の解析および治療への応用	野口雅之	病理診断診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 委
肝分化・肝再生におけるdickkopf3の作用機序の解明	加野准子	病理診断診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 委
ゲノムPCR法およびFISH法での肺腺癌の浸潤に関わる新規遺伝子の解析	南優子	病理診断診療グループ	170万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 委

小計20件



研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
Stratifyn異常発現を基盤とする肺腺癌発生の分子機構の解明と診断・治療応用	野口雅之	病理診断診療グループ	80万円	補 筑波大学 研究戦略プロジェクト・医学系 委
発がん機構の統合的理解に基づいた分子診断・創薬への展開	野口雅之	病理診断診療グループ	500万円	補 筑波大学 プレ戦略イニシアチブ・医学系 委
全ゲノムシーケンス時代に向けた統合失調症の病態の類型化と診断・治療戦略の確立	有波忠雄	遺伝診療グループ	715万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B) 委
日本人統合失調症家系のゲノム解析に基づく疾患発症に関わるゲノム多様性と病態の解明	有波忠雄	遺伝診療グループ	650万円	補 文部科学省新学術領域研究 委

小計4件

合計170件

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Heart Rhythm. 2011 Nov 3 [Epub ahead of print]	Three-dimensional visualization of the entire reentrant circuit of bundle branch reentrant tachycardia.	Machino T	循環器(内)診療グループ
J Cardiovasc Magn Reson. 2011 Oct 29;13:67	The clinical impact of late gadolinium enhancement in Takotsubo cardiomyopathy: serial analysis of cardiovascular magnetic resonance images.	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2011;75(11):2614-20.	Significant increase in the incidence of ventricular arrhythmic events after an intrathoracic impedance change measured with a cardiac resynchronization therapy defibrillator.	Sekiguchi Y	循環器(内)診療グループ
Am J Cardiol. 2011 Nov 1;108(9):1297-304.	Clinical and procedural characteristics of acute hemodynamic responders undergoing triple-site ventricular pacing for advanced heart failure.	Yamasaki H	循環器(内)診療グループ
J Cardiovasc Electrophysiol. 2012 Feb;23(2):179-87.	Identification of unusual reentry circuit sites of nonischemic ventricular outflow tract tachycardia.	Nakano E	循環器(内)診療グループ
Circulation. 2011 Apr 19;123(15):1679-82.	Fatal ostial right coronary artery coronary stent fracture and perforation induced by mechanical stress between the sternum and dilated aortic root.	Hoshi T	循環器(内)診療グループ
JACC Cardiovasc Imaging. 2011 Apr;4(4):358-65.	Endocardial surface area tracking for assessment of regional LV wall deformation with 3D speckle tracking imaging.	Seo Y	循環器(内)診療グループ
Heart Rhythm. 2011 Jun;8(6):826-32.	Prevalence and characteristics of asymptomatic excessive transmural injury after radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation.	Yamasaki H	循環器(内)診療グループ
Ann Thorac Cardiovasc Surg	Do Preoperative Statins Reduce Atrial Fibrillation after Coronary Artery Bypass Grafting?	Hiroaki Sakamoto	循環器(外)診療グループ
日本心臓血管外科学会雑誌	動脈硬化性大動脈瘤を合併した大動脈解離の治療戦略と転帰	坂本裕昭	循環器(外)診療グループ
日本心臓血管外科学会雑誌 (0285-1474)40巻4号 Page181-183, 2011	上行大動脈吻合部フェルトストリップによる狭窄のため溶血性貧血を来した解離性大動脈症例	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ
関東リウマチ(0911-4807)44号 Page99-106, 2011	経皮的心肺補助装置により救命し得た中枢神経障害、肺胞出血、心筋障害を呈した重症SLEの一例	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ
European Journal of Cardio-thoracic Surgery 2011; 40: e156-157.	Isolated giant ascending aortic aneurysm in a child; A novel mutation of ACTA2 gene.	平松 祐司	循環器(外)診療グループ
Journal of Vascular Surgery 2011; 53: 1699-1701	Congenital idiopathic superficial femoral artery aneurysm in a seven-year-old child	平松 祐司	循環器(外)診療グループ
American Journal of Roentgenology 197:W1-W6, 2011	Examination of a new angiographic system that utilizes a highly sensitive receiver and synchrotron radiation for reducing the dose of contrast medium.	榊原 謙	循環器(外)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Circulation Journal 2012; 76: 943-949	Inhibition of protein kinase C $\beta$ ameliorates impaired angiogenesis in Type I diabetic mice complicating myocardial infarction.	神原 謙	循環器(外)診療グループ
Medical Oncology	Bevacizumab in combination with irinotecan, 5-fluorouracil, and leucovorin (FOLFIRI) in patients with metastatic colorectal cancer who were previously treated with oxaliplatin-containing regimens: a multicenter observational cohort study (TCTG 2nd-BV study).	Moriwaki T	消化器(内)診療グループ
Digestion	NSAIDs and acidic environment induce gastric mucosal cellular mitochondrial dysfunction.	Nagano Y, Matsui H	消化器(内)診療グループ
Jpn J Clin Oncol	FOLFIRI plus bevacizumab 5 mg/kg versus 10 mg/kg as second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer who have failed first-line bevacizumab plus oxaliplatin-based therapy: a randomized phase III study (EAGLE Study).	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
Int J Clin Oncol	Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum (JSCCR) guidelines 2010 for the treatment of colorectal cancer.	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
J Gastroenterol	Gastric acid induces mitochondrial superoxide production and lipid peroxidation in gastric epithelial cells.	Matsui H	消化器(内)診療グループ
J Clin Biochem Nutr	Lansoprazole inhibits mitochondrial superoxide production and cellular lipid peroxidation induced by indomethacin in RGM1 cells.	Rai K	消化器(内)診療グループ
Cancer Sci	Genotype-directed, dose-finding study of irinotecan in cancer patients with UGT1A1*28 and/or UGT1A1*6 polymorphisms.	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
Int J Cancer	EpCAM- and EGFR-targeted selective gene therapy for biliary cancers using Z33-fiber-modified adenovirus.	Kawashima R	消化器(内)診療グループ
Cancer Gene Ther	Enhanced specificity of HPV16 E6E7 siRNA by RNA-DNA chimera modification.	Yamato K	消化器(内)診療グループ
Gastric Cancer	A phase II study of biweekly mitomycin C and irinotecan combination therapy in patients with fluoropyrimidine-resistant advanced gastric cancer: a report from the Gastrointestinal Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG0109-D1 Trial).	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
J Gastroenterol	Potent in vitro and in vivo antitumor activity of sorafenib against human intrahepatic cholangiocarcinoma cells.	Sugiyama H	消化器(内)診療グループ

小計12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Annals of surgery	Platelet administration via the portal vein promotes liver regeneration in rats after 70%	Matsuo R	消化器(外)診療グループ
European Journal of Surgical Oncology	Prognostic relevance of the lymph node ratio in surgical patients with extragepatic cholangiocarcinoma	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ
Journal of Gastrointestinnl Surgery	MR imaging of Reactive Lymphoid Hyperplasia of the liver	Kobayashi A	消化器(外)診療グループ
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Platelets Prevent Acute Hepatitis Induced by Anti-Fas Antibody.	Hisakura K	消化器(外)診療グループ
International Journal of molecular medicine	Elevation and characteristics of Rab30 and S100a8/S100a9 expression in an early phase of liver regeneration in the mouse.	Chiba M	消化器(外)診療グループ
Acta Medica.	Chronic Eosinophilic Pneumonia with Subpleural Curvilinear Shadow.	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
Allergol Int.	Pharmacogenetics of $\beta$ 2-agonists	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Cell Mol Biol	Aggrafation of bleomycin-induced pulmonary inflammation and fibrosis in mice lacking peroxiredoxin	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Cell Mol Biol	Thymic stromal lymphopoieting gene promoter polymorphisms are associated with susceptibility to bronchial asthma	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Crit Care Med	Indium tin oxide does not induce GM-CSF autoantibodies	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
Ann Thorac Surg.	Multiple cystic pulmonary amyloidosis	川口未央	呼吸器(内)診療グループ
BMC Med Genet.	An interaction between Nrf2 polymorphisms and smoking status affects annual decline in FEV-1: a longitudinal retrospective cohort study	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
Chest.	A clue to diagnosing connective tissue disease-associated interstitial lung disease	寺本信嗣	呼吸器(内)診療グループ
Clin Exp Allergy.	Expression and effects of IL-33 and ST2 in allergic bronchial asthma; IL-33 induces eotacin production in lung fibroblasts	川口未央	呼吸器(内)診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton Beam Therapy of Stage II and III Non-Small-Cell Lung Cancer	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Int J Chron Obstruct Pulmon Dis:	Lower FEV1 in non-COPD, nonasthmatic subjects; association with smoking, annual decline in FEV1, total IgE levels, and TSLP genotypes.	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ

小計16件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Intern Med.	The mechanism of improvement of gas exchange by noninvasive ventilation (NIV) therapy for the post-operative state of liver cirrhosis patients.	寺本信嗣	呼吸器(内)診療グループ
J Allergy	IL-17F Induces CCL20 in Bronchial Epithelial Cells.	川口未央	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med	Pleural Dissemination Disclosed at 18F-FDG-PET/CT	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
J Emerg Med	A key film.	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ
J Virol.	Role of Nrl2 in host defense against influenza virus incigarette smoke-exposed mice	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ
Onkologie	Recovery from carcinomatous meningitis by erlotinib	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
Pharmacogenet Genomics.	Beta2-adrenergic receptor polymorphisms as a determinant of preferential bronchodilator responses to $\beta$ 2-agonist and anticholinergic agents in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
PLoS Genet.	Genome-wide association study identifies HLA-DP as a susceptibility gene for pediatric asthma in asian Populations	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
PLoS One	Varinnts of C-C motif chemokine 22 (CCL22) are associated with susceptibility to atopic dermatitis : case-control studies	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
Nat Genet.	Genome-wide association study identifies three new susceptibility loci for adult asthma in the Japanese population	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ
Respir Res .	Diagnostic utility of C-reactive Protein combined with brain natriuretic pepide in acute pulmonary edema: a cross sectional study	寺本信嗣	呼吸器(内)診療グループ
Southern Medical Journal	An unusual cause of chest pain	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
Tuberculosis and Thorax	Lung adenocarcinoma with endobronchial growth	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
気管支学	両側多発肺結節および気管支内腔に多発ポリープを呈したシェーグレン症候群合併悪性リンパ腫の1例	小川良子	呼吸器(内)診療グループ
新薬と臨床	シムピコート <sup>®</sup> の臨床的有効性および安全性に関する検討.	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
漢方と診療	気管支喘息として治療されていた腺癌による咳に半夏厚朴湯が有用であった1例.	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
日本胸部臨床	肺がん検診における読影医師の状況ならびに意識調査	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ
新薬と臨床	バレニクリンの臨床的有用性の検討	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
化学療法の領域	リボソーマルアムホテリシンB(L-AMB)の臨床的有用性に関する検討	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ
The LUNG perspective	帯圍後持続する咳、発熱、上肺野不均等陰影を認めた若年の1例.	本間晋介	呼吸器(内)診療グループ
茨城県農村医学会雑誌	蜂窩肺織の画像所見を呈した粘液産生性細気管支肺胞上皮癌の1剖検例.	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Cancer Science	Expression of a splicing variant of the CADM1 specific to small cell lung cancer	菊池慎二、佐藤幸夫	呼吸器(外)診療グループ
Annals of Thoracic Surgery	Multiple Cystic Pulmonary Amyloidosis	酒井光昭、佐藤幸夫	呼吸器(外)診療グループ
Lung Cancer	Preoperative lymphocyte count is an independent prognostic factor in node-negative non-small cell lung cancer	小林尚寛、佐藤幸夫	呼吸器(外)診療グループ
Am J Kidney Dis.	Pharmacokinetics of multiple-dose levofloxacin in hemodialysis patients.	Tsuruoka S, Yokota N, Hayasaka T, Saito T, Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol.	Induction of hemodialysis therapy in a case with factor XIII deficiency.	Hiwatashi A, Usui JI, Sato C, Hasegawa Y, Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol	Cost-effectiveness of chronic kidney disease mass screening test in Japan.	Kondo M, Yamagata K, Hoshi SL, Saito C, Asahi K, Moriyama T, Tsuruya K, Yoshida H, Iseki K, Watanabe T.	腎泌尿器(内)診療グループ
Pathol Int.	A case of multicentric Castleman's disease with membranoproliferative glomerulonephritis type 3-like lesion.	Nagai K, Usui J, Noguchi K, Unai K, Hiwatashi A, Arakawa Y, Togashi A, Morito N, Saito C, Yoh K, Tsuruoka S, Kojima H, Aita K, Nagata M, Yamagata K.	腎泌尿器(内)診療グループ
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Ideal Timing and Predialysis Nephrology Care Duration for Dialysis Initiation: From Analysis of Japanese Dialysis Initiation Survey	Yamagata K, Nakai S, Masakane I, Hanafusa N, Iseki K, Tsubakihara Y, et al	腎泌尿器(内)診療グループ
Anticancer Res., 31(6):2065-71, 2011.01	The therapeutic effects of R8-liposome-BCG-CWS on BBN-induced rat urinary bladder carcinoma	Miyazaki J, Nishiyama H, Kawai K, Joraku A, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
Carcinogenesis, 32(10):1459-66, 2011.10	Thioredoxin-interacting protein suppresses bladder carcinogenesis	Nishizawa K, Nishiyama H, Matsui Y, Ogawa O, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ

小計16件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Asian J Androl., 13(2):236-41, 2011.03	A potent chemotherapeutic strategy in prostate cancer: S-(methoxytrityl)-L-cysteine, a novel Eg5 inhibitor	Xing ND, Ding ST, Ogawa O, Nishiyama H, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
Int J Urol., 18(6):432-8, 2011.06	Overexpression of Eg5 predicts unfavorable prognosis in non-muscle invasive bladder urothelial carcinoma	Ding S, Xing N, Lu J, Zhang H, Ogawa O, Nishiyama H, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
J Endourol., 25(6):1031-5, 2011.06	Laparoendoscopic single-site surgery for left adrenalectomy: standardization of technique	Yoshimura K, Okubo K, Matsui Y, Nishiyama H, Ogawa O	腎泌尿器(外)診療グループ
J Med Case Reports, 5(1): 234, 2011.06	Obstructive azoospermia as an unusual complication associated with herniorrhaphy of an omphalocele: a case report	Tsuchihashi K, Okubo K, Kanematsu A, Ogawa O, Nishiyama H, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
J Hum Genet., 56(8):572-6, 2011.08	A polymorphism of the POLD2 gene is genetically associated with the invasiveness of urinary bladder cancer in Japanese males	Ratanajaranya C, Nishiyama H, Ogawa O, Matsuda F, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
Oncogene, online publication, 2011.10	JunB promotes cell invasion and angiogenesis in VHL-defective renal cell carcinoma	Kanno T, Kamba T, Nishiyama H, Ogawa O, Nakamura E, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
BJU Int., 108(9):1520-6, 2011.11	The liposome-incorporating cell wall skeleton of Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guérin can directly enhance the susceptibility of cancer cells to lymphokine-activated killer cells through up-regulation of natural-killer group 2, member D ligands	Miyazaki J, Kawai K, Kojima T, Oikawa T, Joroku A, et al.	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿紀要, 57(8):429-33, 2011.08	傍神経節腫を合併した腎細胞癌の1例	住吉崇幸, 清水洋祐, 西山博之, 賀本敏行, 住吉真治, 小川 修, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
Jpn J Endourol, 24(2):346-51, 2011.09	経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術前後に診断された前立腺癌・膀胱癌症例の検討	増田憲彦, 吉村耕治, 神波大己, 兼松明弘, 西山博之, 小川 修, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿紀要, 57(12):671-6, 2011.12	尿路上皮癌に対するCisplatin(CDDP)を含む化学療法施行時の腎機能評価方法の比較検討	後藤崇之, 吉村耕治, 大久保和俊, 神波大己, 西山博之, 小川 修, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿紀要, 57(6):309-13, 2011.06	多発腎臓腫を呈したIgG4 関連尿細管間質性腎炎の1例	大饗政嗣, 大久保和俊, 兼松明弘, 西山博之, 川端大介, 小川 修, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿紀要, 57(4):193-7, 2011.04	偽性低アルドステロン症Ⅰ型を呈した両側原発性閉塞性巨大尿管症の1例	牧野雄樹, 兼松明弘, 今村正明, 吉村耕治, 西山博之, 依藤 亨, 小川 修	腎泌尿器(外)診療グループ

小計12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
泌尿紀要, 57(4):185-8, 2011.04	原発性マクログロブリン血症による尿管アミロイドーシスの1例	宮崎 有, 神波大己, 吉村耕治, 兼松明弘, 西山博之, 小川 修, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
日性機能会誌, 26(3):239-43, 2011.12	マスターベーションの施行率とその背景因子 男性機能外来受診者を対象とした検討	末富崇弘, 及川剛宏, 小野澤瑞樹, 宮崎淳, 関戸哲利, 河合弘二, 西山博之, 他	腎泌尿器(外)診療グループ
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Sterol regulatory element-binding protein-1 determines plasma remnant lipoproteins and accelerates atherosclerosis in low-density lipoprotein receptor-deficient mice.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
J Biol Chem	Suppression of the Pancreatic Duodenal Homeodomain Transcription Factor-1 (Pdx-1) Promoter by Sterol Regulatory Element-binding Protein-1c(SREBP-1c).	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Arterioscler Thromb Vasc Biol	Macrophage elov6 deficiency ameliorates foam cell formation and reduces atherosclerosis in low-density lipoprotein receptor-deficient mice.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
J Biol Chem	Inhibition of Ubiquitin ligase F-box and WD repeat domain-containing 7(alpha) (Fbw7(alpha)) (Fbw7(alpha)) causes hepatosteatosis through the Kruppel-like factor 5 (KLF5)/PPAR(gamma)2 pathway, but not SREBP-1c in mice.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Am J Physiol Endocrinol Metab	TFE3 Regulates Muscle Metabolic Gene Expression, Increases Glycogen Stores, and Enhances Insulin Sensitivity in Mice.	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun	Dicer has a crucial role in the early stage of adipocyte differentiation, but not in lipid synthesis, in 3T3-L1 cell	Shimano H	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
第28巻, 4号12月(110号) 内分泌外科206-2110	甲状腺乳頭癌に対する内視鏡補助下甲状腺切除+頸部リンパ節D2郭清の有効性、安全性の確認:第一報	原 尚人, 島 正太郎, 古屋 舞, 田地佳那, 床島 恵美香, 齋藤 剛, 池田 遠彦, 井口 研子, 田中 優子, 坂東 裕子, 橋本 幸二, 高橋 秀人	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ
Arthritis Rheum. 63:755-763,2011	Association of a functional polymorphism in the 3' untranslated region of SP11 with systemic lupus erythematosus.	Hikami K, Kawasaki A, Ito I, Koga M, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Tsutsumi A, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Arinami T, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
International Journal of Rheumatic Diseases 14:86-91,2011	Importance of serine727 phosphorylated STAT1 in IFNgamma-induced signaling and apoptosis of human salivary gland cells.	Tsuboi H, Wakamatsu E, Iizuka M, Nakamura Y, Sugihara M, Suzuki T, Ogishima H, Hayashi T, Goto D, Ito S, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Am. J. Res. Cell. Mol. Biol. 45(3):659-666,2011	Involvement of NK 1.1-Positive [gamma][delta]T Cells in Interleukin-18 Plus Interleukin-2-Induced Interstitial Lung Disease.	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Horikoshi M, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計12件



雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Clin. Exp. Immunol. 164(2):236-247,2011	Activation of natural killer T cells by $\alpha$ -carba-GalCer (RCA1-56), a novel synthetic glycolipid ligand, suppresses murine collagen-induced arthritis.	Yoshiga Y, Goto D, Segawa S, Horikoshi M, Hayashi T, Matsumoto I, Ito S, Taniguchi S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res. Ther. 13(2):R41,2011	Toll-like receptor 7 (TLR7) SNPs in the 3' untranslated region and intron additively contribute to susceptibility to systemic lupus erythematosus in a Japanese female population.	Kawasaki A, Furukawa H, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Kusaoi M, Matsumoto I, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Journal of Human Genetics 56:503-507,2011	Cumulative Association of Eight Susceptibility Genes with Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Female Population.	Koga M, Kawasaki A, Ito I, Furuya T, Ohashi J, Kyogoku C, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
PLoS Genet. 8(1): e1002455,2012	A genome-wide association study identified AFF1 as a susceptibility locus for systemic lupus erythematosus in Japanese.	Okada Y, Shimane K, Kochi Y, Tahira T, Suzuki A, Higasa K, Takahashi A, Horita T, Atsumi T, Ishii T, Okamoto A, Fujio K, Hirakata M, Amano H, Kondo Y, Ito S, Takada K, Mimori A, Saito K, Kamachi M, Kawaguchi Y, Ikari K, Mohammed W O, Matsuda K, Terao C, Ohmura K, Myouzen K, Hosono N, Tsunoda T, Nishimoto N, Mimori T, Matsuda F, Tanaka Y, Sumida T, Yamanaka H, Takasaki Y, Koike T, Horiuchi T, Hayashi K, Kubo M, Kamatani N, Yamada R, Nakamura Y, Yamamoto K.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22:128-136,2012	Six-transmembrane epithelial antigen of prostate4 (STEAP4) is TNF $\alpha$ -induced protein that regulates IL-6, IL-8, and cell proliferation in synovium from patients with rheumatoid arthritis.	Tanaka Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Minami R, Umeda N, Kanamori A, Ochiai N, Miyazawa K, Sugihara M, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Rheum. 64:162-172,2012	Overexpression of T-bet gene regulates murine autoimmune arthritis.	Kondo Y, Iizuka M, Wakamatsu E, Yao Z, Tahara M, Tsuboi H, Sugihara M, Hayashi T, Yoh K, Takahashi S, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22(2):264-271,2012	Generation and functional analysis of monoclonal antibodies against the second extracellular loop of human M3 muscarinic acetylcholine receptor.	Tsuboi H, Nakamura Y, Iizuka M, Matsuo N, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22:1-14,2012	A novel clinical entity, IgG4-related disease (IgG4RD): general concept and details.	Umehara H, Okazaki K, Masaki Y, Kawano M, Yamamoto M, Saeki T, Mitsu S, Sumida T, Mimori T, Tanaka Y, Tsubota Y, Toshino T, Kawa S, Suzuki R, Takegami T, Tomosugi N, Kurose N, Ishigaki Y, Azumi A, Kojima M, Nakamura S, Inoue D.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Rheumatol.(in press)	Six-transmembrane epithelial antigen of prostate4 (STEAP4) is expressed on monocytes/neutrophils, and is regulated by TNF antagonist in patients with rheumatoid arthritis.	Tanaka Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Umeda N, Tanaka Y, Sugihara M, Hayashi T, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Mod. Rheumatol. 22:21-30,2012	Comprehensive Diagnostic Criteria (CDC criteria) for IgG4-related disease (IgG4-RD),2011	Umehara H, Okazaki K, Masaki Y, Kawano M, Yamamoto M, Saeki T, Matsui S, Yoshino T, Nakamura S, Kawa S, Hamano H, Kamisawa T, Shimosegawa T, Shimatsu A, Nakamura S, Ito T, Notohara K, Sumida T, Tanaka Y, Mimori T, Chiba T, Mishima M, Hibi T, Tsubouchi H, Inui K, Ohara H.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Ann Rheum Dis(in press)	Association of UBE2L3 polymorphisms with diffuse cutaneous systemic sclerosis in a Japanese population.	Hnsebe N, Kawasaki A, Ito I, Kawamoto M, Hasegawa M, Fujimoto M, Furukawa H, Tohma S, Sumida T, Takehara K, Sato S, Kawaguchi Y, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Lupus(in press)	Association of PHRF1-IRF7 region polymorphism with clinical manifestations of systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	Kawasaki A, Furukawa H, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Kusaoi M, Matsumoto I, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Care & Research (in press)	Time-dependent increased risk for serious infection from continuous use of TNF antagonists during three years in rheumatoid arthritis patients	Sakai R, Komano Y, Tanaka M, Nanki T, Koike R, Nagasawa H, Amano K, Nakajima A, Atsumi T, Koike T, Ihata A, Ishigatubo Y, Saito K, Tanaka Y, Ito S, Sumida T, Tohma S, Tamura N, Fujii T, Sugihara T, Kawakami A, Hagino N, Ueki Y, Hashiramoto A.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Ann Rheum Dis (in press)	Drug retention rates and relevant risk factors for drug discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients receiving anti-cytokine therapy with different target molecules.	Sakai R, Tanaka M, Nanki T, Watanabe K, Yamazaki H, Koike R, Nagasawa H, Amano K, Saito K, Tanaka Y, Ito S, Sumida T, Ihata A, Ishigatubo Y, Atsumi T, Koike T, Nakajima A, Tamura N, Fujii T, Dobashi H, Tohma S, Sugihara T, Ueki Y, Hashiramoto A, Kawakami A, Hagino N, Miyasaka N, Horigai M, for the REAL Study Group.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res. Ther. (in press)	Interleukine-6 regulates anti-arthritis effect of methotrexate via the reduction of SLC19A1 expression in mouse arthritis model.	Hashizume M, Yoshida H, Tanaka K, Suzuki M, Matsumoto I, Sumida T, Mihira M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res. Ther. (in press)	Interleukine-6 regulates anti-arthritis effect of methotrexate via the reduction of SLC19A1 expression in mouse arthritis model.	Hashizume M, Yoshida H, Tanaka K, Suzuki M, Matsumoto I, Sumida T, Mihira M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Intern. Med.(in press)	A case of a disseminated sporotrichosis patient treated with prednisolone, immunosuppressants, and tocilizumab under the diagnosis of rheumatoid arthritis.	Yamaguchi T, Ito S, Takano Y, Umeda N, Goto M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Int J Hematol 93(5):618-623, May, 2011	Adherence to the standard dose of imatinib, rather than dose adjustment based on its plasma concentration, is critical to achieve a deep molecular response in patients with chronic myeloid leukemia.	Yoshida C, Komeno T, Hori M, Kimura T, Fujii M, Okoshi Y, Suzukawa K, Chiba S, Hasegawa Y, Mukai HY, Ito T, Shimizu S, Kamoshita M, Kudo D, Shinagawa A, Chikatsu N, Monma Y, Watanabe N, Kojima H.	血液診療グループ
Br J Haematol 152(2):631-639, May, 2011	Procoagulant properties of microparticles released from red blood cells in paroxysmal nocturnal haemoglobinuria.	Kozuma Y, Sawahata Y, Takei Y, Chiba S, Ninomiya H.	血液診療グループ

小計10件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Blood 118(5):1374-85, Aug 4, 2011	c-Maf plays a crucial role for the definitive erythropoiesis that accompanies erythroblastic island formation in the fetal liver.	Kusakabe M, Hasegawa K, Hamada M, Nakamura M, Ohsumi T, Suzuki H, Mai TT, Kudo T, Uchida K, Ninomiya H,	血液診療グループ
Embryonic Stem Cells - Recent Advances in Pluripotent Stem Cell-Based Regenerative Medicine INTECH (Vienna), pp,251-272 , 2011	Hematopoietic differentiation from embryonic stem cells.	Yokoyama Y, Nishikii H, Chiba S.	血液診療グループ
PLoS One	Anti-A $\beta$ drug screening platform using human iPS cell-derived neurons for the treatment of Alzheimer's disease.	Yahata N, Asai M, Kitano S, Takabashi K, Asaka I, Hioki H, Kaneko T, Maruyama K, Saïdo TC, Nakahata T, Asada T, Yamanaka S, Iwata N, Inoue H.	精神神経診療グループ
PLoS Genet	Genome-wide association study identifies HLA-DP as a susceptibility gene for pediatric asthma in Asian populations.	Noguchi E, Sakamoto H, Hirota T, Ochini K, Imoto Y, Sakashita M, Kurosaka F, Akasawa A, Yoshihara S, Kanno N, Yamada Y, Shimojo N, Kohno Y, Suzuki Y, Kang MJ, Kwon JW, Hong SJ, Inoue K, Goto Y, Yamashita F, Asada T, Hirose H, Saito I, Fujiwara S, Hizawa N, Sakamoto T, Masuko H, Nakamura Y, Nomura I, Tamari M, Arinami T, Yoshida T, Saito H, Matsumoto K.	精神神経診療グループ
Neurobiol Aging	Effect of plasma lipids, hypertension and APOE genotype on cognitive decline.	Yasuno F, Tanimukai S, Sasaki M, Ikejima C, Yamashita F, Kodama C, Hidaka S, Mizukami K, Asada T.	精神神経診療グループ
Pediatr Dermatol	Linear childhood discoid lupus erythematosus following the lines of Blaschko: successfully treated with topical tacrolimus.	Kawachi Y et al	皮膚診療グループ
Acta Derm Venereol	Incidental Gastric Signet-ring Cell Carcinoma Metastasis to the Skin in Basal Cell Carcinoma.	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
Pediatr Dermatol	Malignant Blue Nevus Arising in a Giant Congenital Cellular Blue Nevus in an Infant.	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
J Eur Acad Dermatol Venereol	Facial nerve morbidity following facial nerve preservation surgery for the treatment of skin cancer of the head and neck.	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
J Surg Oncol	Intraoperative mapping with isosulfan blue of lymphatic leakage during inguinal lymph node dissection (ILND) for skin cancer for the prevention of postoperative lymphocele.	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
Eur J Dermatol	Intra-arterial mitoxantrone/paclitaxel in angiosarcoma of the lower limb associated with chronic lymphedema (Stewart-Treves syndrome) in a patient with cervical cancer: a case report.	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ

小計11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Dermatol	A case of extra-abdominal desmoid tumor in the subcutis of the thigh.	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ
Dermatology	A handmade, low-cost intraoperative fluorescence navigation system with indocyanine green for sentinel lymph node biopsy in skin cancer.	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ
Asian Pac J Allergy Immunol	The enforced expression of RORgammat in hematopoietic stem cells increased Treg cells resulting in in vivo immune balance skewed to declined immunoreactivity.	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ
Int J Hematol. 2012 Mar 30. [Epub ahead of print]	Central nervous system lesions due to juvenile myelomonocytic leukemia progressed in a boy undergoing first line chemotherapy.	Fukushima H, et al.	小児(内)診療グループ
Pediatr Int. 53(6):1073-5	An infant with life-threatening hemangioma successfully treated with low-dose cyclophosphamide.	Fukushima H, et al.	小児(内)診療グループ
J Hum Genet. 57(2):109-14	Association of adiponectin polymorphism with cord blood adiponectin concentrations and intrauterine growth.	Saito M, et al.	小児(内)診療グループ
Clin Appl Thromb Hemost. 18(2):189-94	Significant associations among hemostatic parameters, adipokines, and components of the metabolic syndrome in Japanese preschool children.	Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Brain Dev. 34(3):234-7	Abnormal brain MRI signal in 18q-syndrome not due to dysmyelination.	Tanaka R, et al.	小児(内)診療グループ
Neonatology. 100(1):93-8	Changes in serum adiponectin levels from birth to term-equivalent age are associated with postnatal weight gain in preterm infants.	Saito M, et al.	小児(内)診療グループ
Circ Arrhythm Electrophysiol. 4(4):456-64	Detection of extra components of T wave by independent component analysis in congenital long-QT syndrome.	Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Pediatr Cardiol. 32(6):846-8	Focal atrial tachycardia originating from inside the inferior vena cava late after surgical repair of congenital heart defects.	Kato Y, et al.	小児(内)診療グループ
Nutrition	Usefulness of exchanging a tunneled central venous catheter using a subcutaneous fibrous sheath	Masumoto K, Esumi G, Teshiba R, Nagata K, Taguchi T	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	A case of cystic biliary atresia with an antenatally detected cyst: the possibility of changing from a correctable type with a cystic lesion (I cyst) to an uncorrectable one (IIIc)	Masumoto K, Kai H, Oka Y, Otake R, Yoshizato T, Miyamoto S, Hirose S, Hamasaki M, Nabeshima K, Iwasaki A	小児(外)診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Pediatr Surg Int	Effect of insulin-like growth factors on lung development in a nitrofen-induced CDH rat model	Esumi G, Masumoto K, Teshiba R, Nagata K, Kinoshita Y, Yamaza H, Nonaka K, Taguchi T	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	Identification of TCTE3 as a gene responsible for congenital diaphragmatic hernia using a high-resolution single-nucleotide polymorphism array	Teshiba R, Masumoto K, Esumi G, Nagata K, Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, Yamamoto K	小児(外)診療グループ
Nutrition	Successful treatment of an infected wound in infants by a combination of negative pressure wound therapy and arginine supplementation	Masumoto K, Nagata K, Oku Y, Kai H, Yamaguchi S, Wada M, Kusuda T, Hara T, Hirose S, Iwasaki A, Taguchi T	小児(外)診療グループ
J Pediatr Surg	Synchronized expressions of hepatic stellate cells and their transactivation and liver regeneration during liver injury in an animal model of cholestasis	Alatas FS, Masumoto K, Matsuura T, Hayashida M, Sueki J, Kohashi K, Oda Y, Taguchi T.	小児(外)診療グループ
J Pediatr Surg	Bile duct duplication as a cause of distal bowel gas in neonatal duodenal obstruction.	Komuro H, Ono K, Hoshino N, Urita Y, Gotoh C, Fujishiro J, Shinkai T, Ikebukuro K.	小児(外)診療グループ
J Pediatr Surg	Clinical characteristics of liver fibrosis in patients with choledochal cysts.	Fujishiro J, Urita Y, Shinkai T, Gotoh C, Hoshino N, Ono K, Komuro H.	小児(外)診療グループ
J Pediatr Surg	Enteric duplication cyst of the pancreas with duplicated pancreatic duct.	Fujishiro J, Kaneko M, Urita Y, Hoshino N, Jinbo T, Sakamoto N, Suzuki H, Komuro H.	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	Spatial Temporal patterns of c-kit positive cells in embryonic lungs	Shinkai T, Shinkai M, Pirker MA, Montedonico S, Puri P	小児(外)診療グループ
PEPARS	足底荷重部の再建	関堂 充	形成診療グループ
日本マイクロ会誌	腹腔内血管を利用した腹壁再建の一例	足立 孝二	形成診療グループ
標準形成外科学	皮膚皮下腫瘍A概論	関堂 充	形成診療グループ
形成外科	舌垂全摘以上の欠損に対する機能的再建法	関堂 充	形成診療グループ
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery	Transverse fascial suspension with muscle bow traction: Advantages for full-thickness lip reconstruction involving the oral commissure using free flap	佐々木 薫	形成診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Mol Neurosci. 2011;45(3):480-5.	Molecular Dissection of TDP-43 Proteinopathies.	Hasegawa M, Nonaka T, Tsuji H, Tamaoka A, Yamashita M, Kametani F, Yoshida M, Arai T, Akiyama H.	脳神経(内)診療グループ
JMDD 2011;21:9-13.	内側縦束症候群とUpbeat Nystagmusを呈した脳幹梗塞の62歳男性例.	西村 桃子, 石井 亜紀子, 塩谷 彩子, 徳田 直美, 中馬越 清隆, 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
J Exp Med. 2011;208(8):1661-71.	The immunoreceptor adaptor protein DAP12 suppression B lymphocyte-driven adaptive immune responses.	Nakano-Yokomizo Y, Tahara-Hanaoka S, Nakahashi-Oda C, Nabekura T, Tchao NK, Kadosaki M, Totsuka N, Kurita N, Nakamagoe K, Tamaoka A, Takai T, Yasui T, Kikutani H, Hosoda S, Shibuya K, Lanier LL, Shibuya	脳神経(内)診療グループ
Am J Neuroradiol 2011; 32(7): E139.	Mumps virusencephalitis with symmetric claustrum lesions.	Ishii K, Tsuji H, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ
Intern Med. 2011;50(22):2839-44. Epub 2011 Nov 15.	A Japanese Case with Nasu-Hakola Disease of DAP12 Gene Mutation Exhibiting Precuneus Hypoperfusion.	Nakamagoe K, Shioya A, Yamaguchi T, Takahashi H, Koide R, Monzen T, Satoh J, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun. 2012 ;417(1):116-21.	Epitope mapping of antibodies against TDP-43 and detection of protease-resistant fragments of pathological TDP-43 in amyotrophic lateral sclerosis and frontotemporal lobar degeneration.	Tsuji H, Nonaka T, Yamashita M, Masuda-Suzukake M, Kametani F, Akiyama H, Mann DM, Tamaoka A, Hasegawa M.	脳神経(内)診療グループ
Clin Rehabil. 2012 Jan 24. [Epub ahead of print]	Effects of gait rehabilitation with a footpad-type locomotion interface in patients with chronic post-stroke hemiparesis: a pilot study.	Tanaka N, Saitou H, Takao T, Iizuka N, Okuno J, Yano H, Tamaoka A, Yanagi H.	脳神経(内)診療グループ
Brain and Behavior 2012	Neuronal $\beta$ -amyloid generation is independent of lipid raft association of $\beta$ -secretase BACE1: analysis with a palmitoylation-deficient mutant.	Kazumi Motoki, Hideaki Kume, Akiko Oda, Akira Tamaoka, Ai Hosaka1, Fuyuki Kametani & Wataru Araki:	脳神経(内)診療グループ
European Journal of Neurology.18(7):1010-1013,2011	Sequential imaging analysis using MIBG scintigraphy revealed progressive degeneration of cardiac sympathetic nerve in Parkinson's disease.	Watanabe M, Takeda T, Nakamagoe K., Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ
Nihon Naika Gakkai Zasshi. Nov 10;100(11):3325-8,2011	Case report: a case of anterocollis ameliorated by trihexyphenidyl	Shioya A, Tomidokoro Y, Ishii A, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ
Nihon Naika Gakkai Zasshi. Nov 10;100(11):3325-8, 2011	Intracerebral xanthogranuloma with specific MRI features: a case report	Nakao J, Takano S, Watanabe S, Akutsu H, Matsushita A, Ishii K, Masumoto T, Matsumura A	脳神経(内)診療グループ
AJNR Am J Neuroradiol. Aug 32(7):E139. Epub 2011	Mumps virus encephalitis with symmetric claustrum lesions.	Ishii K, Tsuji H, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Internal Medicine 50, 2839-2844, 2011	A Japanese case with Nasu-Hakola disease of DAP12 gene mutation exhibiting precuneus hypoperfusion.	Nakamagoe K, Shioya A, Yamaguchi T, Takahashi H, Koide R, Monzen T, Satoh J, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Exp Med 208, 1661-1671, 2011	The immunoreceptor adapter protein DAP12 suppresses B lymphocyte-driven adaptive immune responses.	Nakano-Yokomizo T, Tahara-Hanaoka S, Nakahashi-Oda C, Nabekura T, Tehao NK, Kadosaki M, Totsuka N, Kurita N, Nakamagoe K, Tamaoka A, Takai T, Yasui T, Kikutani H, Honda S, Shibuya K, Lanier LL, Shibuya A.	脳神経(内)診療グループ
Neuromuscular Disorders 21:691-692, 2011.	The expression of amphiphysin-2 during skeletal muscle regeneration	石井亜紀子, 玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ
日本腎臓学会誌53巻6号 Page959(2011.08)	維持透析中の意識障害・右片麻痺を契機として診断に至った MELASの1例	河村哲也, 白井丈一, 甲斐平康, 森戸直記, 斎藤知栄, 楊景堯, 鶴岡秀一, 石井亜紀子, 玉岡晃, 山縣邦弘	脳神経(内)・腎泌尿器(内)診療グループ
日本内科学会雑誌	トリヘキシフェニジルが有効であった首下がりの1例	塩谷彩子, 他	脳神経(内)診療グループ
Appl Radiat Isot. Jul 19, 2011. [Epub ahead of print]	A clinical trial protocol for second line treatment of malignant brain tumors with BNCT at University of Tsukuba.	Nakai K, et al	脳神経(外)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun. 406: 608-613, 2011.	Establishment of a novel monoclonal antibody SMab-1 specific for IDH1 R132S mutation.	Takano S, et al	脳神経(外)診療グループ
Neurosurgery 68(5): 1418-1426, 2011.	Newly synthesized radical-containing nanoparticles (RNP) enhance neuroprotection after cerebral ischemia-reperfusion injury.	Tsurushima H, et al	脳神経(外)診療グループ
World Neurosurg 76(3-4): 304-310, 2011.	Time-course analysis of brain perfusion single-photon emission computed tomography using a three-dimensional stereotactic region-of-interest template in patients with Moyamoya disease.	Tsurushima H, et al	脳神経(外)診療グループ
Br J Radiol. Mar 22, 2011. [Epub ahead of print]	Prognostic factors in glioblastoma multiforme patients receiving high-dose particle radiotherapy or conventional radiotherapy.	Matsumura A, et al	脳神経(外)診療グループ
J Neurooncol. 103(1):19-31, 2011.	Immunogene therapy using immunomodulating HVJ-E vector augments anti-tumor effects in murine malignant glioma.	Matsuda M, et al:	脳神経(外)診療グループ
J Neurooncol 102: 43-50, 2011.	Hypoxia-inducible factor 1 $\alpha$ expression is a prognostic biomarker in patients with astrocytic tumors associated with necrosis on MR image.	Takano S, et al	脳神経(外)診療グループ
J Neurosurg.15:248-55, 2011.	Phase I/IIa trial of autologous formalin-fixed tumor vaccine concomitant with fractionated radiotherapy for newly diagnosed glioblastoma.	Matsumura A, et al	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot. 69(12):1790-2, 2011.	Boron neutron capture therapy combined with fractionated photon irradiation for glioblastoma: a recursive partitioning analysis of BNCT patients.	Nakai K, et al	脳神経(外)診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Neurol Med Chir (Tokyo) 51(4): 319-25, 2011.	Pathological changes after autologous formalin-fixed tumor vaccine therapy combined with temozolomide for glioblastoma - three case reports -	Ishikawa E, et al	脳神経(外)診療グループ
Tumor Pathol. 28(2):115-23, 2011.	Detection of IDH1 mutation in human gliomas: comparison of immunohistochemistry and sequencing. Brain	Takano S, et al	脳神経(外)診療グループ
Headache 28:1526-4610, 2011. [Epub ahead of print]	Bioactive coils cause headache and fever after endovascular treatment of intracranial aneurysms.	Nakai Y, et al	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir(Tokyo) 51 : 694-700,2011.	Navigation-Guided Endoscopic Biopsy for Intraparenchymal Brain Tumor.	Ishikawa E, et al	脳神経(外)診療グループ
Appl Radiat Isot Feb 15. 2011. [Epub ahead of print]	The status of Tsukuba BNCT trial: BPA-based boron neutron capture therapy combined with X-ray irradiation.	Yamamoto T, et al:	脳神経(外)診療グループ
J Biomed Sci 18: 62, 2011.	BMP-2 gene-fibronectin-apatite composite layer enhances bone formation.	Tsurushima H, et al:	脳神経(外)診療グループ
Biomed Mater 6: on line published 045004, 2011.	BMP-2 and ALP gene expression induced by a BMP-2 gene-fibronectin-apatite composite layer.	Tsurushima H, et al:	脳神経(外)診療グループ
Biomaterials 32: 4896-4902, 2011.	Control of gene transfer on a DNA-fibronectin-apatite composite layer by the incorporation of carbonate and fluoride ions.	Tsurushima H, et al:	脳神経(外)診療グループ
Biomed Mater Eng 21(2): 75-82, 2011.	Osteoblast differentiation and disinfection induced by nitrogen plasma-treated surfaces.	Tsurushima H, et al:	脳神経(外)診療グループ
Journal of Cataract and Refractive Surgery	Repeatability and reproducibility of anterior chamber volume measurement using 3-dimensional anterior segment optical coherence tomography.	Fukuda S, Kawana K, Yasuno Y, Oshika T	眼診療グループ
American Journal of Ophthalmology	Wound architecture of clear corneal incision with or without stromal hydration observed with 3-dimensional optical coherence tomography.	Fukuda S, Kawana K, Yasuno Y, Oshika T	眼診療グループ
日本コンタクトレンズ学会誌	オルソケラトロジーによる角膜後面形状変化の経時的評価.	平岡孝浩, 加治優一, 岡本史樹, 大鹿哲郎	眼診療グループ
American Journal of Ophthalmology	Ophthalmodynamometric pressure in eyes with proliferative diabetic retinopathy measured during pars plana vitrectomy.	Sugiura Y, Okamoto F, Okamoto Y, Hasegawa Y, Hiruoka T, Oshika T	眼診療グループ
Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics	Time course of changes in ocular aberrations after instillation of carteolol long-acting solution and timolol gel-forming solution.	Hiruoka T, Daito M, Okamoto F, Kiuchi T, Oshika T	眼診療グループ

小計14件



雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
臨床眼科	楯岡フーリエ記述子に基づく水晶体形状発達の定量的解析.	中嶋典子, 石井晃太郎, 岩田洋佳, 大鹿哲郎	眼診療グループ
Biomedical Optics Express	Birefringence measurement of cornea and anterior segment by office-based polarization-sensitive optical coherence tomography.	Lim Y, Yamanari M, Fukuda S, Kaji Y, Kiuchi T, Miura M, Oshika T, Yasuno Y	眼診療グループ
臨床眼科	眼瞼瘍患者における視覚関連QOLの検討.	増田綾美, 平岡孝浩, 岡本芳史, 岡本史樹, 大鹿哲郎	眼診療グループ
日本眼科学会雑誌	高倍遠光干渉断層計による脈絡膜骨髄の観察.	長谷川優実, 岡本史樹, 平岡孝浩, 安野嘉晃, 巻田修一, 大鹿哲郎	眼診療グループ
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Quantitative evaluation of changes in eyeball shape in emmetropization and myopic changes based on elliptic fourier descriptors.	Ishii K, Iwata H, Oshika T	眼診療グループ
日本眼科学会雑誌	オブロキサシメチル化製剤点眼後の実用視力と波面収差の経時的変化.	山本敏哉, 平岡孝浩, 大鹿哲郎	眼診療グループ
Cancer Sci	Prevalence and type distribution of human papillomavirus in healthy Japanese women aged 20 to 25 years old enrolled in a clinical study.	Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Int J Cancer	Predicting the Progression of Cervical Precursor Lesions by Human Papillomavirus Genotyping: A Prospective Cohort Study.	Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
J Magn Reson Imaging.	Ovarian serous surface papillary borderline tumors form sea anemone-like masses.	Okada S, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Expert Review of Anticancer Therapy	Neoadjuvant chemotherapy for advanced ovarian cancer: overview of outcomes and unanswered questions.	Onda T, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Cancer Biology & Therapy	Villin1, a diagnostic marker for endometrial adenocarcinoma with high grade nuclear atypia.	Satoh T, Oki A, Matsumoto K, Okada S, Minaguchi T, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynecol Res	Guidelines for obstetrical practice in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology (JSOG) and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists (JAOG) 2011 edition.	Hamada H, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Jpn J Clin Oncol	The History of the Gynecologic Cancer Study Group (GCSG) of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG).	Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Eur J Radiol	Solid non-invasive ovarian masses on MR: Histopathology and a diagnostic approach.	Tanaka YO, Satoh T, Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
J Phys Chem B	The elongation of Fe-His Bond in $\alpha$ subunit induced by binding of the allosteric effector bezafibrate to hemoglobins.	Hamada H, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Int J Gynecol Cancer,	HLA Class II DRB1*1302.1 allele protects against progression to cervical intraepithelial neoplasia grade 3: A multicenter, prospective, cohort study.	Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Gynecol. Oncol.	A multi-institutional phase II trial of paclitaxel and carboplatin in the treatment of advanced or recurrent cervical cancer.	Yoshikawa H, Satoh T.	婦人・周産期診療グループ
Journal of Human Genetics	Association of adiponectin polymorphism with cord blood adiponectin concentrations and intrauterine growth	Hamada H.	婦人・周産期診療グループ
Pediatric Surgery International	Long-term survival with cloacal dysgenesis sequence	Hamada H.	婦人・周産期診療グループ
Foodborne Pathog Dis.	Associations between multidrug resistance, plasmid content, and virulence potential among extraintestinal pathogenic and commensal Escherichia coli from humans and poultry.	Obata-Yasuoka M	婦人・周産期診療グループ
Steroid Research	Protective roles of estrogens and other neurosteroids in cochlear injury	Mariko Nakamagoe	耳鼻咽喉診療グループ
耳鼻臨床	頭頸部がん患者の疼痛緩和の方法	大久保英樹	耳鼻咽喉診療グループ
Medicinal Chemistry	Protective effect of corticosteroids and neurosteroids on cochlear injury	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉診療グループ
Current Medicinal Chemistry	Ototoxicity: Mechanism of cochlear impairment and its prevention	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉診療グループ
Steroids	Effect of neuroactive steroids on cochlear hair cell death induced by gentamicin	Mariko Nakamagoe	耳鼻咽喉診療グループ
Biochemical and Biophysical Research Communications	Protective role of Nr12 in age-related hearing loss and gentamicin ototoxicity	Tomofumi Hoshino	耳鼻咽喉診療グループ
Clinical Neuroscience	突発性難聴の病態と治療	田淵経司	耳鼻咽喉診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Audiology Japan	筑波大学における聴覚障害医学生への教育と情報保障	和田哲郎	耳鼻咽喉診療グループ
耳鼻臨床	聴神経腫瘍の診断・治療の問題点	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ
J Clin Anesth	Rapid injection of propofol reduces vascular pain and facilitates Laryngeal Mask Airway insertion.	Shimizu T, Inomata S, Tanaka M	麻酔診療グループ
J Anesth	A novel association of alveolar capillary dysplasia, atypical duodenal atresia, and subglottic stenosis.	Shimizu T, Fukuda T, Inomata S, Satsumae T, Tanaka M	麻酔診療グループ
Acta Anaesth Taiwan	Forces applied to the maxillary incisors during tracheal intubation and dental injury risks of intubation by beginners: A manikin study.	Fukuda T, Sugimoto Y, Yamashita S, Toyooka H, Tanaka M.	麻酔診療グループ
J Anesth	Tracheomalacia after reoperation for an adenomatous goiter located in a unique position.	Nakadate Y, Fukuda T, Hara H, Tanaka M	麻酔診療グループ
J Clin Anesth	Intracranial hemorrhage from undiagnosed metastatic brain tumor during general anesthesia.	Yamashita S, Fukuda T, Shimizu T, Tanaka M	麻酔診療グループ
Pediatric Anesthesia	Minimum alveolar concentrations of sevoflurane for maintaining bispectral index below 50 in children.	Tsuruta S, Satsumae T, Mizutani T, Inomata S, Shimizu T, Takahashi S, Tanaka M	麻酔診療グループ
Front Cell Neurosci	Enhanced Synaptic Activity and Epileptiform Events in the Embryonic KCC2 Deficient Hippocampus.	Khalilov I, Chazal G, Chudotvorova I, Pellegrino C, Corby S, Ferrand N, Gubkina O, Nardou R, Tyzio R, Yamamoto S, Jentsch TJ, Hübner CA, Gaiarsa	麻酔診療グループ
Front Cell Neurosci.	Phenobarbital but Not Diazepam Reduces AMPA/kainate Receptor Mediated Currents and Exerts Opposite Actions on Initial Seizures in the Neonatal Rat Hippocampus.	Nardou R, Yamamoto S, Bhar A, Burnashev N, Ben-Ari Y, Khalilov I	麻酔診療グループ
J Vis Exp.	Normothermic cardiac arrest and cardiopulmonary resuscitation : a mouse model of ischemia-reperfusion injury.	Hutchens MP, Traystman RJ, Fujiyoshi T, Nakayama S, Herson PS	麻酔診療グループ
J Cereb Blood Flow Metab.	SK2 channels are neuroprotective for ischemia-induced neuronal cell death.	Allen D, Nakayama S, Kuroiwa M, Nakano T, Palmateer J, Kosaka Y, Ballesteros C, Watanabe M, Bond CT, Luján R, Maylie J, Adelman JP, Herson PS	麻酔診療グループ
J Cereb Blood Flow Metab.	Sex differences in neuroprotection provided by inhibition of TRPM2 channels following experimental stroke.	Jin J, Verma S, Nakayama S, Quillinan N, Grate MR, Hurn PD, Herson PS	麻酔診療グループ
J Clin Anesth	Intracranial hemorrhage from undiagnosed metastatic brain tumor during general anesthesia.	Yamashita S, Fukuda T, Shimizu T, Tanaka M	麻酔診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Respir Care	Endotracheal tube extubation force: adhesive tape versus endotracheal tube holder.	Shimizu T, Mizutani T, Yamashita S, Hagiya K, Tanaka M	麻酔診療グループ
Ultrasound Med Biol.	Real-time tissue elastography for the diagnosis of lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma.	Ishibashi N	歯・口腔診療グループ
J Oral Maxillofac Surg.	Human Immunodeficiency Virus-Associated Burkitt's Lymphoma in Oral Cavity of Japanese Patient.	Goto M	歯・口腔診療グループ
ISRN Dent.	Cheilitis glandularis: two case reports of asian-Japanese men and literature review of Japanese cases.	Yanagawa T	歯・口腔診療グループ
Bone Marrow Transplant	The effect of oral management on the severity of oral mucositis during hematopoietic SCT.	Yamagata K	歯・口腔診療グループ
Oral Maxillofac Surg.	Basal cell adenoma arising in a minor salivary gland of the palate.	Ishibashi N	歯・口腔診療グループ
Oral Maxillofac Surg	Prospective study establishing a management plan for impacted third molar in patients undergoing hematopoietic stem cell transplantation.	Yamagata K,	歯・口腔診療グループ
理学療法学	・慢性期脳卒中片麻痺患者に対する体重免荷トレッドミル歩行練習の即時効果および経時効果	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
高齢者ケアリング学研究会誌	・高齢者における多様な食品摂取の重要性について～新たな評価法の試み～	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
日本公衆衛生学会誌	・特定高齢者に対する運動及び栄養指導の包括的支援による介護予防効果の検証	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
日本プライマリ・ケア連合学会誌	・地域で暮らす統合失調症患者に対する精神科訪問看護の役割ー精神科訪問看護利用者の特性と再入院との関連要因ー	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
Acta Criminologica et Medicinae Japonica	Development of child care worker's report checklist of PTSD in preschool children	Nobunaki Morita	保健衛生外来診療グループ
Circ J	Prediction of chronic renal insufficiency after coronary angiography by an early increase in oxidative stress and decrease in glomerular filtration rate.	Tajiri K, Maruyama H, Sato A, Shimojo N, Saito T, Endo M, Aihara H, Kawano S, Watanabe S, Sakai S, Aonuma K.	救急・集中治療診療グループ
Paediatr Anaesth	Minimum alveolar concentrations of sevoflurane for maintaining bispectral index below 50 in children.	Tsuruta S, Satsumae T, Mizutani T, Inomata S, Shimizu T, Takahashi S, Tanaka M.	救急・集中治療診療グループ
Circ J	Guidelines for Indication and Management of Pregnancy and Delivery in Women with Heart Disease (JCS 2010): digest version.	Niwa K, Akagi T, Aomi S, Hara Y, Ikeda T, Matsuda Y, Nakanishi N, Shiranishi J, Terui K, Ishii T, Kamiya C, Kawano S, Kuwasoe Y, Nomura M, Ota M, Shinohara T,	救急・集中治療診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Hip Joint	Tapered stemのステム長の違いが及ぼす影響—同一患者における両側でのX線比較—	西野衆文, 三島初, 河村春生, 宮川俊平, 落合直之.	救急・集中治療診療グループ
中毒研究	筋緊張性疾患治療剤(とくにエベリン)塩酸塩, アフロクアロン)の急性中毒に関する実態調査.	竹内明子, 黒木由美子, 飯塚富士子, 飯田薫, 渡辺晶子, 波多野弥生, 遠藤容子, 水谷太郎, 吉岡敏治.	救急・集中治療診療グループ
中毒研究	日本中毒情報センターで受信したいわゆる「合法ハーブ」による急性中毒に関する実態調査.	黒木由美子, 飯田薫, 竹内明子, 三瀬雅史, 高野博徳, 荒木浩之, 飯塚富士子, 波多野弥生, 遠藤容子, 水谷太郎, 吉岡敏治.	救急・集中治療診療グループ
臨床スポーツ医学	ジュニア選手へのチームドクターとしての対応 バレーボール・ジュニアナショナルチームとフル代表の対比.	西野衆文, 林光俊.	救急・集中治療診療グループ
麻酔	多系統萎縮症患者の副腎腫瘍摘出術の麻酔経験.	前田良太, 山下創一郎, 猪股伸一, 田中誠, 水谷太郎.	救急・集中治療診療グループ
麻酔	小児における気管チューブの固定法と固定力の検討.	黒川裕子, 清水雄, 山下創一郎, 田中誠, 水谷太郎.	救急・集中治療診療グループ
Journal of Clinical Rehabilitation	バレーボール障害・外傷のリハビリテーション・ジャンパー膝を中心に.	西野衆文, 荒井正志.	救急・集中治療診療グループ
Nuclear Science and Technology	Application of the Multi-Modal Monte-Carlo Treatment Planning System Combined with PHITS to Proton Radiotherapy	Kumada H, Sakae T, Saito K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	A clinical trial protocol for second line treatment of malignant brain tumors with BNCT at University of Tsukuba	Aiyama H, Nakai K, Yumamoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res (Tokyo)	Attenuated lung fibrosis in interleukin 6 knock-out mice after C-ion irradiation to lung	Saito-Fujita T, Iwakawa M, Nakamura E, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Urol	Carbon-ion radiation therapy for prostate cancer	Ishikawa H, Tsuji H, Kamada T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiother Oncol	Displacement of hepatic tumor at time to exposure in end-expiratory-triggered-pulse proton therapy	Oshiro Y, Okumura T, Ishida M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Nuclear Science and Technology	Efficient Modeling Method with Complicated Human Geometry for Monte-Carlo Treatment Planning System	Kumada H, Saito K, Sakae T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Nuclear Science and Technology	Effects of secondary neutron beam generated in radiotherapy on electronic medical devices	Isobe T, Kumada H, Takada K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Evaluation of liver function after proton beam therapy for hepatocellular carcinoma	Mizumoto M, Okumura T, Hashimoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Radiat Prot Dosimetry	Feasibility study on using imaging plates to estimate thermal neutron fluence in neutron-gamma mixed fields	Fujibuchi T, Tanne Y, Snaek T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Hyperfractionated Concomitant Boost Proton Beam Therapy for Esophageal Carcinoma	Mizumoto M, Sugahara S, Okumura T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Prot Dosimetry	Induced radioactive nuclides of 10-MeV radiotherapy accelerators detected by using a portable HP-Ge survey meter	Fujibuchi T, Obara S, Yamaguchi I, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Biol	Induction of in situ DNA double-strand breaks and apoptosis by 200 MeV protons and 10 MV X-rays in human tumour cell lines	Gerelchuluun A, Hong Z, L. Sun, K. et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Oncol	Influence of secondary neutrons induced by proton radiotherapy for cancer patients with implantable cardioverter defibrillators	Hashimoto T, Isobe T, Hashii H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Investigation of irradiation conditions for recurrent breast cancer in JRR-4	Horiguchi H, Nakamura T, Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Investigation of the geometric accuracy of proton beam irradiation the liver	Fukumitsu N, Hashimoto T, Okumura T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Multistep Lattice-Voxel method utilizing lattice function for Monte-Carlo treatment planning with pixel based voxel model	Kumada H, Saito K, Nakamura T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res (Tokyo)	Occurrence and clinical features of brain metastasis after chemoradiotherapy for esophageal carcinoma	Kanemoto A, Hashimoto T, Harada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Outcome of T4 (International Union Against Cancer Staging System, 7th edition) or Recurrent Nasal Cavity and Paranasal Sinus Carcinoma Treated with Proton Beam	Fukumitsu N, Okumura T, Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo)	Pathological changes after autologous formalin-fixed tumor vaccine therapy combined with temozolomide for glioblastoma	Sakamoto N, Ishikawa E, Yamamoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiation Measurements	Precise mapping system of entrance skin dose during endovascular embolization for cerebral aneurysm	Moritake T, Hayakawa M, Matsumaru Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for hepatocellular carcinoma located adjacent to the alimentary tract	Nakayama H, Sugahara S, Fukuda K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton Beam Therapy for Hepatocellular Carcinoma: A Comparison of Three Treatment Protocols	Mizumoto M, Okumura T, Hashimoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton Beam Therapy of Stage II and III Non-Small-Cell Lung Cancer	Nakayama H, Satoh H, Sugahara S, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res (Tokyo)	Radiotherapy for patients with symptomatic intramedullary spinal cord metastasis	Hashii H, Mizumoto M, Kanemoto A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Thorac Oncol	Results of Proton Beam Therapy without Concurrent Chemotherapy for Patients with Unresectable Stage III Non-small Cell Lung Cancer	Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Resumption of JRR-4 and characteristics of neutron beam for BNCT	Nakamura T, Horiguchi H, Kishi T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Am J Clin Oncol	Role of radiotherapy for local control of asymptomatic adrenal metastasis from lung cancer	Oshiro Y, Takeda Y, Hirano S, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	The status of Tsukuba BNCT trial: BPA-based boron neutron capture therapy combined with X-ray irradiation	Yamamoto T, Nakai K, Narini T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Lung Cancer	Verification of beam delivery using fibrosis after proton beam irradiation to the lung tumor	Fukumitsu N, Oshiro Y, Hashimoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
医学物理 Jpn J Med Phys	医用線形加速器搬去のための放射化の評価	志田晃一, 磯辺智範, 高田健太, ほか	放射線腫瘍科診療グループ
日本放射線技術学会雑誌	骨格筋 proton MRSにおける計測成功率に関する検討	磯辺智範, 岡本嘉一, 平野雄二, ほか	放射線腫瘍科診療グループ
小児科	小児難治性悪性腫瘍に対する陽子線治療	大城佳子, 菅原信二, 水本育志, ほか	放射線腫瘍科診療グループ
J. Thorac Oncol.6:244-285, 2011.	International association for the study of lung cancer/american thoracic society/european respiratory society international multidisciplinary classification of lung adenocarcinoma.	Travis WD, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Int J Cancer 129:2445-2453, 2011.	High expression of Stratifin is a universal abnormality during the course of malignant progression of early-stage lung adenocarcinoma.	Shiba-Ishii A, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Cancer Science 102:267-274, 2011.	APAF-1 is related to an undifferentiated state in the testicular germ cell tumor pathway.	Behjati R, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Pathol Int. 61:130-137, 2011.	Overexpression of immunoglobulin (CD79a) binding protein1 (IGBP-1) in small lung adenocarcinomas and its clinicopathological significance.	Sakashita S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Anticancer Res 31:529-534, 2011.	Binding of lactoferrin to IGFBP1 triggers apoptosis in a lung adenocarcinoma cell line.	Li D, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Histopathology 58:729-738, 2011.	IGFBP-1 is expressed specifically in ovarian clear cell adenocarcinoma.	Sugita S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Clin Cancer Res. 17:1481-1489, 2011.	MYC amplification as a prognostic marker of early stage lung adenocarcinoma identified by whole genome copy number analysis.	Iwakawa R, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Virchows Arch 459:399-407, 2011.	Specific expression of ZO-1 and N-cadherin in rosette structures of various tumors: possible recapitulation of neural tube formation in embryogenesis and utility as a potentially novel immunohistochemical marker of rosette formation in pulmonary neuroendocrine tumors.	Satomi K, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Proc Am Thorac Soc. 8:381-385, 2011.	International association for the study of lung cancer/American Thoracic Society/European Respiratory Society: international multidisciplinary classification of lung adenocarcinoma: executive summary.	Travis WD, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
Int J Cancer 129:1410-1416, 2011.	Reaction of plasma hepatocyte growth factor levels in non-small cell lung cancer patients treated with EGFR-TKIs.	Tanaka H, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
J Thorac Oncol. 6:2011-2017, 2011.	Hepatocyte growth factor expression in EGFR mutant lung cancer with intrinsic and acquired resistance to tyrosine kinase inhibitors in a Japanese cohort.	Yano S, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
J Clin Exp Hematopathol 51:109-114, 2011.	Treatment outcome of adult burkitt lymphoma in Japanese patients with modified LMB protocol: a signal center retrospective analysis.	Nishikii H, Noguchi M, et al.	病理診断診療グループ
PLoS Genet. 7(7):e1002170, 2011	Genome-wide association study identifies HLA-DP as a susceptibility gene for pediatric asthma in Asian populations.	野口恵美子 有波忠雄	遺伝診療グループ
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 159B(1):30-37, 2012.	Association of SNPs linked to increased expression of SLC1A1 with schizophrenia.	有波忠雄	遺伝診療グループ
Pharmacogenomics J. in press	DPP6 as a candidate gene for neuroleptic-induced tardive dyskinesia	有波忠雄 野口恵美子	遺伝診療グループ
Allergol Int. 60(1):87-92, 2011	Upregulation of IL17RB during natural allergen exposure in patients with seasonal allergic rhinitis.	野口恵美子 有波忠雄	遺伝診療グループ
J Hum Genet 56(3):250-252, 2011	A Japanese case of ichthyosis follicularis with atrichia and photophobia syndrome with an MBTPS2 mutation.	野口恵美子 有波忠雄	遺伝診療グループ

小計13件



雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Synapse,65(2):103-108, 2011	Functional polymorphism in the GPR55 gene is associated with anorexia nervosa.	有波忠雄	遺伝診療グループ

小計1件

合計307件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
管理担当者氏名	医療情報部長 大原信 薬剤部長 幸田幸直 病院総務部総務課長 多田典史、医事課長 坂本泰敏

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部 薬剤部 総務課	カルテは1患者1ファイルにより、医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課、医事課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
第規一則号第一掲条の十体第一確項保各号状及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	臨床医療管理部
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 多田典史、医事課長 坂本泰敏
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	81.2 %	算定期間	平23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	14,148人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,631人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,900人	
	D：初診の患者の数	20,243人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年 2 回以上行う。 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
・ 活動の主な内容： 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、オカレンスレポート等の分析、改善策等を協議する。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 第 1 期の研修プログラム (12 回開催) 「ノンテクニカルスキルアップ - 一般知識に基づく事故防止 -」 第 2 期の研修プログラム (14 回開催) 「医療の質を表す指標 - クオリティインディケーター 不審者対策講習会及び実技 (3 回)」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容：  医療行為の手順をエビデンスに基づいて改善する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ( 2 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 7 ) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理部の設置 院内感染発生時の対応 職員研修</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 抗菌薬関連下痢症（12回開催） 多剤耐性緑膿菌と蓄尿（14回開催）</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>病院における発生状況の報告等の整備 （☑・無）</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理部から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡</li></ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 職員全員を対象とした「診療の安全に関する研修（第1期）」において、「本院におけるハイリスク薬」をテーマに資料を用いて説明を行った。 職員全員を対象とした「診療の安全に関する研修（第2期）」において、「製剤量と成分量の違い」をテーマに資料を用いて説明を行った。</li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>手順書の作成 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li><li>業務の主な内容：院内巡視にて実施状況を確認</li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/>・無 )</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 製薬企業MRからの情報収集 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス） 個人のメールボックスへの印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ等） 院内メールによる情報配信 薬剤部内の朝礼による周知 薬剤部HPにおいても、情報提供印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ 等）</li></ul>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無																																		
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年17回																																		
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>(1) 医療機器の安全使用</td><td>1回 (全職員対象) (延べ8回実施)</td></tr><tr><td>(2) 除細動装置の安全使用</td><td>7回 (看護職員・医師・臨床工学技士対象)</td></tr><tr><td>(3) 閉鎖式保育器の安全使用</td><td>2回 (看護師対象)</td></tr><tr><td>(4) 人工心肺の安全使用</td><td>3回 (医師・臨床工学技士対象)</td></tr><tr><td>(5) 血液浄化装置の安全使用</td><td>4回 (血液浄化療法部スタッフ対象)</td></tr><tr><td>(6) 人工呼吸器の安全使用</td><td>2回 (集中治療部スタッフ対象)</td></tr><tr><td>(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置の使用法</td><td>1回 (放射線技師対象)</td></tr><tr><td>(8) 診療用放射線照射装置の使用法</td><td>2回 (放射線技師対象)</td></tr><tr><td>(9) 自動血圧計の使用法</td><td>1回 (看護師対象)</td></tr><tr><td>(10) 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全使用</td><td>7回 (看護師、看護助手対象)</td></tr><tr><td>(11) 超音波診断装置の使用法</td><td>2回 (医師対象)</td></tr><tr><td>(12) セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、テレメータの使用法</td><td>10回 (看護師、医師、助産師対象、臨床検査技師、臨床工学技士対象)</td></tr><tr><td>(13) 空気圧式マッサージ器の使用法</td><td>1回 (看護師対象)</td></tr><tr><td>(14) インファントウォーマーの使用法</td><td>1回 (医師対象)</td></tr><tr><td>(15) 12誘導心電計の安全使用</td><td>3回 (看護師対象)</td></tr><tr><td>(16) 血圧脈波検査装置の使用法</td><td>1回 (臨床検査技師対象)</td></tr><tr><td>(17) 超音波ネブライザーの使用法</td><td>3回 (看護師対象)</td></tr></table>		(1) 医療機器の安全使用	1回 (全職員対象) (延べ8回実施)	(2) 除細動装置の安全使用	7回 (看護職員・医師・臨床工学技士対象)	(3) 閉鎖式保育器の安全使用	2回 (看護師対象)	(4) 人工心肺の安全使用	3回 (医師・臨床工学技士対象)	(5) 血液浄化装置の安全使用	4回 (血液浄化療法部スタッフ対象)	(6) 人工呼吸器の安全使用	2回 (集中治療部スタッフ対象)	(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置の使用法	1回 (放射線技師対象)	(8) 診療用放射線照射装置の使用法	2回 (放射線技師対象)	(9) 自動血圧計の使用法	1回 (看護師対象)	(10) 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全使用	7回 (看護師、看護助手対象)	(11) 超音波診断装置の使用法	2回 (医師対象)	(12) セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、テレメータの使用法	10回 (看護師、医師、助産師対象、臨床検査技師、臨床工学技士対象)	(13) 空気圧式マッサージ器の使用法	1回 (看護師対象)	(14) インファントウォーマーの使用法	1回 (医師対象)	(15) 12誘導心電計の安全使用	3回 (看護師対象)	(16) 血圧脈波検査装置の使用法	1回 (臨床検査技師対象)	(17) 超音波ネブライザーの使用法	3回 (看護師対象)
(1) 医療機器の安全使用	1回 (全職員対象) (延べ8回実施)																																		
(2) 除細動装置の安全使用	7回 (看護職員・医師・臨床工学技士対象)																																		
(3) 閉鎖式保育器の安全使用	2回 (看護師対象)																																		
(4) 人工心肺の安全使用	3回 (医師・臨床工学技士対象)																																		
(5) 血液浄化装置の安全使用	4回 (血液浄化療法部スタッフ対象)																																		
(6) 人工呼吸器の安全使用	2回 (集中治療部スタッフ対象)																																		
(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置の使用法	1回 (放射線技師対象)																																		
(8) 診療用放射線照射装置の使用法	2回 (放射線技師対象)																																		
(9) 自動血圧計の使用法	1回 (看護師対象)																																		
(10) 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全使用	7回 (看護師、看護助手対象)																																		
(11) 超音波診断装置の使用法	2回 (医師対象)																																		
(12) セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、テレメータの使用法	10回 (看護師、医師、助産師対象、臨床検査技師、臨床工学技士対象)																																		
(13) 空気圧式マッサージ器の使用法	1回 (看護師対象)																																		
(14) インファントウォーマーの使用法	1回 (医師対象)																																		
(15) 12誘導心電計の安全使用	3回 (看護師対象)																																		
(16) 血圧脈波検査装置の使用法	1回 (臨床検査技師対象)																																		
(17) 超音波ネブライザーの使用法	3回 (看護師対象)																																		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																			
<p>・ 計画の策定 (☑・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。</p>																																			
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																			
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。</p>																																			